

## ～ モバイルバッテリーの注意点 ～

スマートフォンからタブレット、テレビのリモコンや車のバッテリーにいたるまで、私たちの生活には電池が欠かせません。

様々な種類の電池がある中で、近年使用用途がグンッと広がり、生産数が増加しているリチウムイオン電池、通称「モバイルバッテリー」。

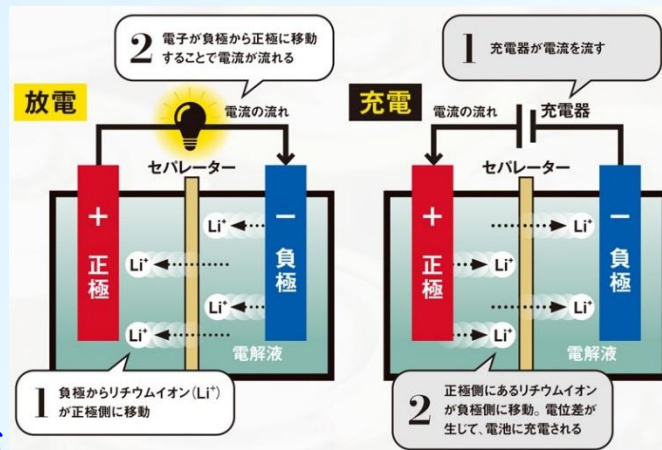
私たちの身近なモノでは、スマートフォンや音楽プレイヤーなどの電子機器に使用されています。さらに最近ではドローンや電気自動車、人工衛星にも搭載されるようになってきているようですが、なにかと発火事故が多いようです。今月はモバイルバッテリーの取扱い、注意点に着目してみます。

## <リチウムイオン電池って?>

リチウムイオン電池とは、電極にリチウムという金属を含んだ化合物を使い、**リチウムイオンの移動によって放電する電池**のことを言います。

右図のように、リチウムイオンが電極のあいだを行ったり来たりして放電と充電を行います。

リチウムは非常に軽くて小さい物質のため、原子を多く含んでも**小さくて軽い電池が製造できる利点**があり、今日のモバイルバッテリーに生かされています。



## <リチウムイオン電池誕生までの、充電電池の歴史>

### 1) ニカド電池

今から100年以上前の1899年にスウェーデンのユングナーが発明したものが最初と言われ、その後、1960年初頭に米国で商品化され、日本でも1963年から64年にかけて、三洋電機、松下電器産業が民生用として相次いで量産化。

特徴は、**頑丈であること、優れた大電流特性(負荷特性)**という特長を活かして、コードレス電話や、電動工具、シェーバー、非常照明等に**現在も使われています**。

### 2) ニッケル水素電池

1990年代になると、携帯電話、ノートパソコン、デジカメなど小型電子機器が急速に普及しますが、その立役者の一つが、同年に世界で初めて、松下電池工業、三洋電機が相次いで量産化したのがこの電池です。

有害物質であるカドミウムを用いていないことから**環境面でも評価**され、車載向けでは、**世界初の量産ハイブリッド車(HEV)に搭載**されました。

# <便利ですが・・・リチウムイオン電池の注意点>

列車内でのモバイルバッテリーの発火事故やスマートフォンの発火事故について、最近のニュース等でご存じの方も多いかと思います。このような発火事故の原因の一つとして、**製品にリチウムイオン電池が使用されていることが要因**だそうです。

リチウムイオン電池は、モバイルバッテリーやスマートフォンのほか、スマートウォッチ、など日常生活で身に着けたり、持ち歩いたりする様々な製品に使用されています。消費者庁によると、これらのリチウムイオン電池使用製品についての発熱・発火等の事故情報が寄せられ、**年々増加傾向**にあります。

使用製品を**落としてしまう**など、**その際の衝撃によって破損し、発熱・発火**といった事故につながる危険性があります。リチウムイオン電池使用製品の使用にあたっては、**発熱・発火等事故が発生する危険性を常に意識するとともに、以下のような点に注意**しましょう。

リチウムイオン電池が使われている製品例

 電動工具	 充電式掃除機	 スマホ・PC	 デジタルカメラ
 モバイルバッテリー	 加熱式たばこ	 電気シェーバー	 ハンディファン

住宅火災におけるリチウムイオン電池関連火災件数  
(令和6年は速報値)



年	件数
平成29年	20
平成30年	27
令和元年	46
令和2年	57
令和3年	79
令和4年	79
令和5年	78
令和6年	106

5倍以上

- ① 強い衝撃や圧力を加えない
- ② 高温になる場所では使用・保管しない
- ③ 製造事業者が指定する充電器やバッテリーを使用する
- ④ 膨張、充電できない、バッテリーの減りが早くなった、充電中に熱くなるなどの異常がある場合は使用を中止し、製造事業者や販売店に相談する

## <万が一出火したら！>

- ◎火花や煙が激しく噴出している場合は近寄らない
- ◎火花や煙の勢いが収まったら、大量の水や消火器で消火する
- ◎消火後、安全に配慮し可能であれば水没させる

また、リチウムイオン電池を**一般ごみとして出してしまう**と、ごみの収集時や処理施設での処理工程の中で**圧迫され、発火や破裂を起こす危険性**がありますので、各自治体に従った方法で廃棄するようにしてください。

**Point①**  
大量の水をかける



**Point②**  
水没させる



**「売・貸物件 不足しております！」**

好評につき、物件が不足中です  
掲載料や面倒な手続きは必要ありません。  
「ご依頼」を頂くだけで結構です。

<https://maruhiro2103.co.jp>

私たちは、土地や建物の仲介のみではなく、声かけ頂ければ、何でもお役に立てます！

～土地・建物のよろず屋～

**マルヒロ不動産(株)**

名古屋市中村区横前町109番地

TEL: 052-413-4628

